

令和 7 年 度
稲荷第二市民センター運営審議会
(第 1 回)

日 時 : 令和 7 年 6 月 12 日 (木)

午後 3 時 00 分から

会 場 : 稲荷第二市民センター 学習室

【次 第】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 会議録署名人選出
- 4 議 題
 - (1) 令和 6 年度施設の利用状況及び事業報告について
 - (2) 令和 7 年度運営方針及び重点目標について
 - (3) 令和 7 年度事業計画について
 - (4) 令和 7 年度定期講座開設状況について
 - (5) その他
- 5 閉 会

令和7年度水戸市稲荷第二市民センター運営審議会委員名簿

任期：令和6年4月 1日から
令和8年3月31日まで

(順不同敬称略)

No.	職 名	し めい 氏 名	選出区分	団体等名及び役職	備考
1	会 長	かいとう たけし 海 東 健	市民活動団体	元六反田町内会評議員	
2	副会長	おおさわ おさむ 大 沢 修	市民活動団体	元いきいきコミュニティ 稲荷二副会長	
3	委 員	おしの ようこ 押 野 洋 子	市民活動団体	民生委員児童委員	
4	委 員	よしざき くみ 吉 崎 久美	市民活動団体	稲荷第二小学校 P T A副会長	
5	委 員	しまざき まゆこ 島 崎 繭 子	市民活動団体	稲荷第二小学校 後援会副会長	
6	委 員	たやま よしたか 田 山 善 堂	学校教育関係者	稲荷第二小学校長	

令和7年度水戸市稲荷第二市民センター 職員名簿

No.	職 名	し めい 氏 名
1	所 長	すのう たけし 須 能 剛 志
2	会計年度 任用職員	かもんぜき じゅんこ 掃 部 関 順 子
3		ななかわ まちこ 七 川 真智子
4		まつだ りえ 松 田 理恵

(1) 令和6年度市民センター施設の利用状況・事業報告について

① 館内利用者数

部屋・ 年度 月	ホール			和 室			学習室			調理室			図書利用			合計		
	4	5	6	4	5	6	4	5	6	4	5	6	4	5	6	4	5	6
4 月	531	723	614	77	35	62	124	66	85	5	0	0	2	0	0	739	824	761
5 月	493	655	663	76	64	76	123	95	90	5	0	0	1	0	2	698	814	831
6 月	546	687	892	80	82	94	135	124	124	5	14	0	1	0	0	767	907	1,110
7 月	469	660	667	66	111	76	159	176	192	11	0	0	0	0	0	705	947	935
8 月	547	622	533	55	84	38	73	82	69	0	17	18	0	0	0	675	805	658
9 月	561	686	783	74	47	98	131	90	150	6	0	0	0	0	0	772	823	1,031
10 月	534	625	586	90	35	83	109	105	177	4	0	0	0	0	0	737	765	846
11 月	675	760	734	91	63	77	125	137	84	4	17	16	0	0	0	895	977	911
12 月	457	651	692	38	57	78	144	128	116	5	0	0	0	0	0	644	836	886
1 月	503	520	645	36	92	49	101	72	102	5	0	0	0	0	0	645	684	796
2 月	680	644	688	111	94	76	148	94	124	22	12	0	0	0	1	961	844	889
3 月	626	753	655	57	69	102	151	174	182	0	0	5	0	0	1	834	996	945
合計	6,622	7,986	8,152	851	833	909	1,523	1,343	1,495	72	60	39	4	0	4	9,072	10,222	10,599

② 館外利用者数

月	件数	人数	内容	月	件数	人数	内容	4～3月 合計	件数	人数
4	2	30	桜ライトアップ	10	1	280	市民運動会		11	1,164
5	0	0		11	1	36	いきいきまつり準備			
6	1	100	常澄ブロック ソフトバレー	12	3	500 23 18	いきいきまつり 移動学習(成人) 移動学習(好文塾)			
7	0	0		1	1	19	家庭教育講演会			
8	1	140	夕涼み会	2	0	0				
9	1	18	移動学習 (歴史)	3	0	0				

③令和6年度市民センター事業報告

【一般教養講座等】

●家庭教育関係

事業名	対 象	開催日	内 容	講 師	参加人数
家庭教育強化事業	未就園児 ・保護者	10月18日 (金)	Happy Halloween	加藤 一枝	19
家庭教育講演会	新入学児童 ・保護者	1月31日 (金)	「小学校入学に当たっての心構え」	比留間 範之	19

●青少年教育関係

事業名	対 象	開催日	内 容	講 師	参加人数
夏休み子ども教室	地区児童	7月26日 (金)	書道教室	平賀 禮子	15
		8月2日 (金)	親子料理教室	食生活改善推進員	15
		8月7日 (水)	絵画教室	関 徹	18
		8月8日 (木)			18
冬休み子ども教室		12月26日 (木)	書道（書き初め）教室	平賀 禮子	17

●女性教養関係

事業名	対 象	開催日	内 容	講 師	参加人数
女性教養講座	市内成人	6月27日 (木)	懐メロコンサート	ナツメロボランティア 歌謡すすらん	26

●成人教育関係

事業名	対 象	開催日	内 容	講 師	参加人数
成人教養講座	成人	10 月 25 日 (金)	電気あんぜん教室	一般財団法人 関東電気 保安協会 茨城事業本部 広報担当 深谷正樹	1 9
		12 月 13 日 (金)	移動学習 「国土地理院・坂野家住宅」		2 3
毎月 第三水曜		「ニュースポーツ体験会」	木ノ内 勇	延べ 1 2 6	
2 月 14 日 (木)		和のこころを体験 ～新舞踊～	西崎 琴江	9	
11 月 5 日 (火)		「人生100年時代のライフプラン」 ちょっとした工夫で変わる家計	ファイナンシャル プランナー 山口 京子	17	
11 月 20 日 (水)		「相続 はじめの一步」 こんなにある！相続の手続き	ファイナンシャル プランナー 高村 浩子	1 8	
12 月 12 日 (木)		移動学習 「造幣局での工場見学 身近なお 金について学んでみましょう」		1 8	
一般教養講座					
常澄ブロック好文塾					

●郷土史・歴史関係

事業名	対 象	開催日	内 容	講 師	参加人数
歴史講座	成人	9月27日 (金)	移動学習 「東国三社のひとつ鹿島神宮めぐり 鹿島港～遊覧船に乗って～」		18

●高齢者教養関係

事業名	対 象	開催日	内 容	講 師	参加人数
高齢者教養講座	地区高齢者	11 月 6 日 (水)	♪便利♪を体験 スマホ講座 基礎～応用編	スマートフォン アドバイザー 株式会社NTTドコモ	8
		1 月 24 日 (金)	フレイル予防講座 「健康寿命を延ばそう」	明治安田生命保 険相互会社 助川 麻里子	10
		2 月 27 日 (木)			5

【地域関連事業】

事業名	対 象	開催日	内 容	参加人数
桜ライトアップ	地区住民	4 月 6 日 (土) 7 日 (日)	センター内の桜にハロゲンランプを照射	30
ソフトバレー大会	常澄ブロッ ク住民	6 月 30 日 (日)	1 チーム4 名 各リーグ上位 3 チームに賞品	100
洪水ハザード避難訓練 稲荷第二地区防災講習	地区住民	7 月 28 日 (日)	防災行政無線等の呼びかけによる避難訓練 地震対策を考える減災・防災講習会	32
夕涼み会	地区未就学 児・小学生	8 月 24 日 (土)	水ヨーヨーつり・スーパーボールすくい 紙飛行機・花火・お土産配布	140
福寿のつどい	地区高齢者	9 月 15 日 (日)	75 歳・80 歳・85 歳・90 歳以上を対象 健康体操・講演・ビンゴゲーム・記念品配布	60
市民運動会	地区住民	10 月 13 日 (日)	みとちゃんダンス・徒競走・玉手箱・パンくい競争	280
いきいきまつり		12 月 1 日 (日)	定期講座(クラブ)・学校による学習成果の発表・展示 定期講座(クラブ)・学校・その他協力団体の催事	500
オセロ交流会		2 月 2 日 (日)	入門講座・実践交流	21

【定期講座】

定期講座名		講 師	受講者数	延べ	
				回数	人数
クラブ	ピラティス	岡 田 典 子	21	19	292
	太極拳	秋 山 恵 子	17	20	237
	スポーツ吹矢	高 崎 衛	9	18	61
	園 芸	渡 辺 達 也	13	9	90
	書 道	平 賀 禮 子	10	18	154
	着 付	清 水 友 子	12	20	169
計			82	104	1,003

(2) 令和7年度運営方針及び重点目標について

令和7年度水戸市市民センター運営方針及び重点目標について

運 営 方 針

近年、人口減少社会や超高齢社会の到来をはじめ、都市化の進展、価値観の多様化、生活圏の拡大など、市民を取り巻く状況は大きく変化している。

こうした状況にあっても、市民が安心して暮らし、幸せを感じられる豊かな地域を形成していくためには、今後ますます地域コミュニティ活動と生涯学習活動の推進が必要となる。

市民センターにおいては、地域コミュニティ活動の拠点として、その継続や発展に向けた支援に努めるとともに、生涯学習活動の拠点として、その充実や成果を生かす環境づくりに努める。また、東日本大震災での経験や近年の台風大型化への警戒等を踏まえ、地域防災活動の拠点としての機能充実を図っていくものとする。

重 点 目 標

1 地域コミュニティ活動の推進

(1) 地域コミュニティ活動の活性化

ア 地域自らが地域の将来像や課題を共有し、特色のある地域づくりや課題の解決を進めることができるよう、地域コミュニティプランの実現に向けた取組への支援を促進し、住みよいまちづくり推進協議会を中心とした自主的な活動を推進する。

イ 各種コミュニティ団体等の活動を支援するとともに、NPO等との連携を促進しながら、よりよい地域づくりに向けた情報の共有化を進めるなど、地域コミュニティ推進体制の充実、連携強化を図る。

ウ 町内会・自治会への参加意識や自治意識の高揚を図るため、地域団体や関係機関と連携強化を図り、地域コミュニティ活動内容を積極的に発信するとともに、地区会の基盤である町内会・自治会の加入率の向上に努める。特に水戸市住みよいまちづくり推進協議会との協働により、「みと町内会・自治会カード」事業の更なる魅力の向上を図る。

エ 市民自らが意欲を持って地域活動に参加できるよう、一人一役運動を進めるほか、人材育成のための研修会を通して、地域を支えるリーダーづくりを推進する。

(2) 地域コミュニティ活動環境の充実

市民センターにおける様々な活動環境の一層の充実に向け、施設の利用状況や地域の実情等にあわせたコミュニティルームの積極的な利用を促進するとともに、長寿命化型改修の実施及び施設の利用者数や周辺の状況等を踏まえつつ狭あい駐車場の解消に努める。

また、各市民センターのホームページの中で、地域情報を積極的に発信し、それぞれの地域の魅力向上に努める。

(3) 地域防災活動との連携

災害発生時の初動対応については、地域における防災組織が重要な役割を担うものであ

ることから、平常時より、地域での防災訓練への支援、地域における災害リスクや連絡体制の確認を行うなど、地域における防災組織との連携を図る。

2 生涯学習活動の推進

(1) 学習機会の充実

生涯学習活動の拠点施設である市民センターにおいては、どのような状況下でも学びを止めることなく、「個人の要望」する学習による生きがいを進めるとともに、家庭教育への支援や青少年の健全育成、少子・高齢化への対応などの「社会の要請」に応じた現代的課題を取り扱った学習機会を提供する。

そのため、水戸市における生涯学習事業を総称した「みと弘道館大学」に位置付けた、一般教養講座や定期講座を開催するとともに、みと好文カレッジにおける事業を活用しながら、市民のライフスタイルに定着し、生涯にわたって学び続けることができるよう、学習機会の充実に努める。

ア 市民ニーズを捉えた学習機会の提供

市民の学習ニーズを把握し、健康で生きがいのある充実した人生を送ることができるよう、生涯学習のきっかけづくりを図るとともに、それぞれの世代に合った学習機会の提供に努める。

イ 現代的課題を取り扱った講座の開催

変化の激しい社会情勢に対応していくため、成人学級、高齢者学級等の講座に現代的課題を取り扱ったテーマを組み入れるなどの手法により、地域課題を主体的に捉える学習機会の充実に努める。特に、デジタル・ディバイド解消のため、高齢者等に向けたICTリテラシーを身につける講座の充実に努める。

また、地域団体と市民センターが一体となった協働事業を積極的に展開する。

ウ 家庭教育や子育てを支援する講座等の開催

家庭は、子どもが基本的な生活習慣、生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、思いやりや善悪の判断、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身につける上で重要な役割があることから、家庭教育について考える機会を提供するため、学校等における家庭教育学級や家庭教育講演会を開催する。

また、未就園児の保護者が家庭教育について学び、各家庭が家庭教育に自主的に取り組むことができるよう支援するため、家庭教育強化事業を実施する。

(2) 学習の成果を生かす環境づくり

生涯学習の成果がボランティア活動や地域づくりに生かせるよう、地域人材の発掘・育成を行い、地域の活性化や特色あるまちづくりに生かしていくための環境づくりを進める。

ア 地域資源の活用推進

市内には、歴史的な資産や史跡をはじめ博物館、歴史館などの文化施設、学校や大学などの物的資源やそれぞれの施設に所属する職員などの人的資源があり、豊かな地域資源に恵まれている。このような地域にある資源を活用した事業を開催するとともに、生涯学習の振興に取り組む機関や団体との連携を図りながら、地域資源の有効活用を推進する。

イ 学習の成果を発表する場の創出

市民センターを会場に開催している講座の展示会や発表会など、生涯学習の成果を発表する場を創出することにより、学習者同士や参加者との交流を拡大させ、新たなネットワーク構築に努める。

ウ 学習の成果を地域活動に生かす仕組みづくり

生涯学習の成果をボランティア活動や地域活動に生かすことが、地域の活性化に大いに役立つものと期待されている。市民センターで学んだ市民が、その成果を地域コミュニティ活動につなげられるよう、人材の育成と活用に努める。

エ 事業評価に基づく事業の推進

市民センターの講座や事業に参加した市民が日常生活の中で生涯学習の成果をどのように生かし、また、地域の中でどれだけ活動に関わっているのかなど、事業の成果を検証することが求められている。

市民センターにおいては、実施した講座や事業について自己評価を行うとともに、自己評価をもとに、運営審議会等第三者機関による検証を行い、効果的な事業運営を図る。

(3) 家庭・地域・学校の連携の強化

家庭・地域・学校が目標や課題を共有し、それぞれが連携して対応策について取り組む体制を構築し、地域社会全体の教育力の向上を図ることができるよう、市民センターにおいては、それぞれをつなぎ結ぶ地域拠点施設としての機能充実に努める。

ア 次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む

地域、学校と連携を図りながら、様々な形で異なる世代での交流や大人と接する事業など、子どもたちが地域活動に参加する場を提供し、地域社会全体で次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む活動の推進に努める。

イ 社会全体で支える家庭教育

子どもたちが健全に成長していくためには、良好な家庭環境や社会環境を整える必要がある。そのために、家庭の教育力の向上だけでなく、地域の人的資源を子育て支援事業や学校活動支援事業に活用し、家庭教育を地域社会全体で支える仕組みづくりに努める。

(3) 令和7年度事業計画について

	事業名
4月	・定期講座、教育講座等開設準備 ・定期講座生徒募集
5月	・定期講座開設（教室2・クラブ5） ・花苗（ベゴニア・ジニア）定植（5/20(火)）
6月	・定期講座 ・第1回稲荷第二市民センター運営審議会（6/12(木)） ・花苗（アゲラタム・マリーゴールド）定植（6/17(火)） ・洪水ハザード避難訓練（6/29(日)）
7月	・定期講座 ・高齢者教養講座「懐メロ☆コンサート」（7/9(水)） ・夏休み子ども教室「書道教室」（7/25(金)）
8月	・夏休み子ども教室「親子料理教室」（8/6(水)） 「絵画教室」（8/6(水)～7(木)） ・夕涼み会（8/23(土)）
9月	・定期講座 ・成人教養講座（移動学習 笠間方面）（9/12(金)） ・女性教養講座「内容検討中」（未定）
10月	・定期講座 ・稲荷第二地区市民運動会（10/12(日)） ・高齢者教養講座「スマホ体験講座 基本と応用」（10/23(木)）
11月	・定期講座 ・家庭教育強化事業「内容検討中」（未定） ・次年度定期講座の検討
12月	・定期講座 ・稲荷二いきいきまつり（12/7(日)） ・歴史講座（移動学習 日立方面）（12/16(火)） ・女性教養講座「しめ縄作り」（12/19(金)） ・冬休み子ども教室「書道教室」（未定）
1月	・定期講座 ・家庭教育強化事業「内容検討中」（未定） ・家庭教育学級「新入学児童保護者対象の講演会」（1/30(金)）
2月	・定期講座 ・オセロ交流会（2月初旬） ・第2回稲荷第二市民センター運営審議会（2月上旬） ・防災研修会（2月中旬） ・成人教養講座「米粉料理教室（仮）」（未定）
3月	・定期講座 ・定期講座生徒募集準備 ・花苗（パンジー）定植（3月上旬）

(4) 令和7年度定期講座開設状況について

教 室

教室名	開催日	時 間	講 師	受講者数	備 考
茶道 (石州流)	第3 (火)	9:30～ 11:30	湊 素仙	7	5月20日開講
ニュー スポーツ	第1・3 (水)	13:00～ 15:00	木ノ内 勇	12	5月7日開講

ク ラ ブ

クラブ名	開催日	時 間	講 師	受講者数	備 考
ピラティス	第2・4 (月)	10:00～ 11:00	岡 田 典 子	23	5月12日開講
太極拳	第1・3 (火)	13:30～ 15:00	秋 山 恵 子	21	5月20日開講
スポーツ吹矢	第2・4 (火)	13:30～ 15:30	須 藤 千 代	9	5月13日開講
書 道 (毛筆・硬筆)	第1・3 (木)	9:30～ 11:30	平 賀 禮 子	8	5月1日開講
着 付	第1・3 (土)	16:00～ 18:00	清 水 友 子	13	5月17日開講

(5) その他